



本物に学ぶ

東京 2020 オリンピック 空手女子形 銀メダリスト

清水希容 さんとの交流

11月25日(金)、羽合小学校の全児童、全職員が待ち望んだ日がやってきました。この日は、オリンピック銀メダリストの清水希容さんがやって来られる日です。

国が推進するオリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業に応募したところ、見事に本校が推進校として選ばれ、この素晴らしい機会を与えていただくこととなりました。この機会をとおして、世界レベルで活躍しておられる方の話を聞き、「本物に学ぶ」ことを体感してほしいと願っていたのですが、その思いが実現することとなりました。学校では、一人一台のタブレットを持ち、検索すればどんな情報でもすぐ手に入ります。しかし、私たち教師はそれ以上に、経験や体験に勝る学びはないと考えています。しかも、その学びの対象が「本物」であればあるほど深まりのある大きな学びとなります。清水選手のように、世界選手権で何度も優勝を飾られ、さらには東京 2020 オリンピックというとても重圧のかかる大会で銀メダルを取られた方と出会い、話を聞いたり、一緒に運動したり、演武を見たりすることは、まさに「本物に学ぶ」絶好の機会だと思います。

その時の様子を少しご紹介します。

待ちに待った清水選手との対面です。この夏、テレビで見慣れたオレンジの日本選手団ユニフォームで入場されると会場の雰囲気がすっかりオリンピックの空手会場になったようでした。初めに、山下教諭の司会のもとにお話をうかがいました。大切にしている言葉は、「自分を信じる」ということ。オリンピック前には毎日12時間も練習をされていたそうです。試合では、この言葉を常に胸に秘め、ネガティブ思考の自分自身を奮い立たせておられたそうです。そのあと、道着に着替えられ空手の基礎を教わりました。道着の凛々しい姿に一同感激しました。そして、最後に「ニーパイポ」という演武を披露していただきました。演武名を大きな声で発せられた瞬間から、体育館全体に凛とした空気があふれ、一気に清水さんワールドに引き込まれていきました。息をのむような素晴らしい演武でした。2時間余りのわずかなひと時でしたが、世界レベルで勝負される「本物」のすばらしさを実感させられました。子どもたちにとって、一生忘れられないかけがえのない宝物を与えていただいたような気がしました。清水希容選手、そしてこの企画を実現させていただいた全ての方々に感謝します。



イメージ画像

「ゾーン30羽合小学校エリア」が開設されました

アロハホールの北側の道路から国道179号線までの水下、久留地内が制限速度30kmのゾーン30に指定されました。地域の方々の願いと町、警察とのご理解のもとに町内初のエリアとなったそうです。このことが、児童の登下校や放課後の安全安心につながることを大いに期待しています。

12月となり今学期もあとわずかとなりました。先週末には学校周辺でみぞれが降ったようです。寒さに負けず、あと3週間余り、全校児童が元気に登校することを願っています。

